

ホウレンソウと花卉の共同出荷による安定経営体制の確立

事業名：経営構造対策事業（平成12年度認定）
 地区名：岐阜県高山市・国府町西部地区
 事業主体：飛騨農業協同組合
 施設名：農畜産物集出荷貯蔵施設 1棟3,213.3㎡（H12～14）
 事業費：261,849千円（国費：124,688千円）

1. 組織の概要

- (1) 組織名：飛騨農業協同組合
- (2) 構成員：16,883人（正組員）
- (3) 設立年月日：平成7年4月1日
- (4) 業務内容等：営農指導事業、生活指導事業、販売事業他
- (5) 連絡先：JAひだ 高山営農センター
 岐阜県高山市上切町311
 0577-32-1507
<http://www.janethida.ne.jp/jahida/>

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

ホウレンソウ栽培農家(H5 122人 H15 93人)は減少する一方、出荷量(H11 1755t H16 1999t)は増加しており、既存のホウレンソウ予冷施設では、ピーク時には処理しきれず、夏場の高温時には品質低下による価格の低迷の原因になっていた。

若い農業後継者には花卉栽培の人气が高く、栽培農家(H5 44人 H15 70人)が増えつつあるが、共選体制が整っていなかったため、市場への有利販売につながっていなかった。

(2) 取組概要

農家の庭先から市場までを切れ目のないコールドチェーンで結び、品質低下の防止により飛騨ホウレンソウのブランド評価が一層高まり所得の安定化が図られた。

花卉ラインの自動化に伴う業務の効率化及びPOSシステムの導入による情報伝達のスピードアップにより、農家の出荷作業の軽減や花卉の有利販

売につながった。

当地区の事業効果については、認定農業者が102人から144人に、担い手への農地利用集積が238haから297haに増加した。

施設整備と相まって、施設近辺の飛騨東部開発圃場の供用も始まり、ホウレンソウ出荷農家等担い手農家に優良農地が集積された。

高山市役所の嘱託職員である地域マネージャーが中心となり、経営改善支援センター等の関係機関からの協力のもと担い手への経営支援情報提供や勉強会を行い、資質の向上を図った。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の解消	
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標割 合(%)	地区目標割合 (%)	計画時	目標	増加率 %	計画時 (ha)	目標 (ha)
102	155	152.0	13.1	15.4	(24.4%) 238.0	(35.0%) 342.0	10.6	0.0	0.0

(2) 地区選択目標

ホウレンソウ・花きの販売金額		家族経営協定の締結	
計画時(万円)	目標(万円)	計画時(戸)	目標(戸)
115,256	152,650	5	16

整備施設

施設全景



施設内部（花き梱包ライン）

